

区政を聞く一般質問 (要旨)

詳しい内容は、会議録(2月中旬発行予定)をご覧ください。会議録は、区議会公式サイトや区政情報コーナー(区役所3階)、図書館などでご覧になれます。

かつしか区民連合

さまざまな世代に対するサービス向上のためのDX推進を

デジタル・トランスフォーメーションの推進

問財政が堅調な推移をしている今だからこそ、将来への投資的活用を行っていくべきであり、その柱となるのがDXの推進になる。区として予算を投じてでも23区の先頭を走れるようなDX先進自治体へと取り組みを進めていくべきと考えるがどうか。

答一かつしかDX一は、最新のデジタル技術を最大限に活用し、施策へのDX活用などを重点方針に掲げ23区の先頭を走れるような戦略としている。予算や人材を重点投入し、区役所変革に向け、スピード感を持ち積極的にDX推進に取り組んでいく。

※他の質問項目 大学の連携 など

子育て支援

問保育園の送迎ステーションについて、昨年、まずJR3駅での設置と地域循環バスを検討すべきと提案したが、具体的な検討結果を示されたい。

答モデル事業として、水元地域に駅から遠い保育園が多いことや金町駅前の公共施設の活用が見込めることから、当該地域を対象とし検討を進めている。本事業については、JR3駅などにおいて効果が見込まれるが、モデル事業における利用者などの意見を踏まえ、その後の展開について検討を進めていく。

※他の質問項目 発達相談の体制強化 など

教育

問境界知能について、制度上の境界線の下に紛れ込んで、支援が届かない状況が広がっているのではないかと懸念がある。教員への研修による支援の具体化・理解促進と、より一層の手厚い支援員の配置について、区の課題認識と見解を伺う。

答通常学級の教員向けの特別支援教育研修などに境界知能についての題材を加え、具体的な支援策などを示すことで教員の理解を深め、指導力向上に取り組む。また、個に応じたきめ細やかな対応のための支援体制についても、引き続き検討していく。

※他の質問項目 非認知能力 など

堀切菖蒲園駅周辺のまちづくり

問駅周辺を一体的に整備するためには、駅前に高層建築物を建てる一般的な手法を取らず、堀切のまちに即した手法を十分に議論した上で、再開発も含め検討すべきと考えるがどうか。



堀切菖蒲園駅

答来年度以降に予定している勉強会などで権利者や堀切地区まちづくり推進協議会の方々と意見交換を行いながら駅周辺全体としての視点を踏まえつつ、さまざまなまちづくり手法の可能性について検討を深めていく。

※他の質問項目 水路敷の課題 など
他の質問件名 公共図書館、防災教育の拡大

日本共産党葛飾区議会議員団

外遊優先ではなく
物価高騰対策こそ本格化を

議会の招集を要請した区長が会期中に外遊すること

問ドバイへの外遊は中止すべきと思うがどうか。

答特別区長会の代表として参加し、葛飾区における持続可能な脱炭素社会の構築に向けた取り組みや特別区の

取り組みについて、政府代表団の一員として世界に発信していく。

物価高騰対策

問介護保険料は、23区中20区では独自の軽減措置があり、本区も実施すべきである。また、現在15段階で運用されている保険料率も負担軽減のための細やかな見直しが必要と思うがどうか。

答区独自の保険料軽減措置は、第9期の介護保険事業計画でも継続を考えているので、さらなる軽減措置の実施は考えていない。また、所得段階の見直しは、現行の15段階から17段階に変更することを、新たな計画を策定する中で検討している。

※他の質問項目 物価・原油価格高騰等対策緊急融資の実施 など

教員の働き方改革

問子ども選択肢を広げるためにも、区内私立リースクールに通う子どもも家庭に経済的な支援を行うべきと思うがどうか。

答リースクールはその運営形態が多様であり、かかる費用についても大きな差があるため、経済的な支援を行うことへの課題は多く、現在のところ支援は考えていない。

※他の質問項目 給特法の改定 など

再開発にかかるまちづくり



バリケードで囲われた立石駅周辺

問再開発エリアはバリケードで封鎖し、駅南口にも悪影響を及ぼしている状態を放置せず、緊急の対策のために、

区は責任を果たす必要があるのではないか。そのための具体的な方策を示すべきと思うがどうか。

答仮囲いの設置によって、現在南口地区に悪影響を及ぼしているとは考えていないが、今後も状況を見ながら周辺にお住まいの方や歩行者などに配慮し、安全に工事を進めるよう、再開発組合を指導していく。

※他の質問項目 今後のエリアマネジメントの在り方 など

自由民主党議員団

自由民主党議員団
危機に対する区民の安全対策と誇りある博物館運営を

国民保護

問全国瞬時警報システム(Jアラート)が鳴ったら区民はどうしたらよいのか。また、Jアラートの警報音もあの音のままでは危機感が足りないように感じる。本日にミサイルが飛んできて区民の避難率が上がるとは思えないが、区の見解を伺う。

答屋外にいる場合は、近くのコンクリート造の建物や地下などへ避難することが望ましいが、無理せず付近の建物に避難するなど、安全確保のための行動を取っていただき、屋内にいる場合は、外に出ることは控え、窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動するなどの行動が必要となる。本区でも、Jアラートの全国一斉情報伝達試験を年4回実施しているが、正常な動作確認を主目的としていることから、実際の警報音ではないため、ミサイルが発射された場合の警報音の周知が十分でない認識している。

※他の質問項目 区の初動体制 など

これからの博物館行政のあり方

問リニューアルしたプラネタリウムや常設展示エリアなどの資源・資産を有効活用し、より安定して力強さを感じさせるとともに一段と魅力ある事業を提供していくためにも、課題

が多くみられる現在の事業展開の在り方を抜本的に検証し、必要なら改善・見直しを図っていく必要があると思うがいかかか。



郷土と天文の博物館内のプラネタリウム

答郷土と天文の博物館は、教育施設として学校との連携を図るとともに、一般の方々も来館している。新型コロナウイルスの影響により減少した来場者も回復傾向にある。今後多くの来場者数を確保し魅力ある施設であり続けるためには、プラネタリウムや常設展示などの設備や人的資源を効果的に活用できるよう、見直し改善を図っていくことが不可欠である。この機を捉えて、魅力ある事業展開に向けて、民間活力の活用も含めた抜本的な検討を進めていきたいと考える。

※他の質問項目 博物館の将来像 など

他の質問件名 保育施設整備など、医療的ケア児の受け入れ、乳幼児期のリトミックの取組

問「行かない」窓口、「紙で保存しない」執務空間を前提として、窓口の時間的ゆとりや広い執務空間を生み出しながら、職員の執務効率を最大限に高め、最高の区民サービスを提示できる新庁舎の整備に向けて検討を進めてほしいが、区の考えを伺う。

答オンライン手続の拡充などに向けた取り組みによる効果と連動させながら、デジタルツールの導入を積極的に推進し、職員の業務効率を高められる快適な執務空間を整備していく。さらに、効率的な業務遂行に向けた職員の意欲を喚起し、庁内の連携強化を図りながら、便利で快適な区民サービスを提供するための検討を深化させていく。

※他の質問項目 ペーパーレス区役所の実現に向けたインフラ整備 など

産後ケア事業の充実

問住民税課税世帯の宿泊ケア利用料を無料にし、母子健康手帳の交付を受けた際には、どこでも産後ケア事業の利用申し込みができるようにすべきと思うが、区の見解を伺う。

答産後ケアを必要とする全ての方が時機を逸せず利用することができるよう、宿泊ケアも、利用者の所得の状況に関わらず利用者負担額を無料とすることを検討していく。また、伴走型相談支援体制を推進し、産後ケア事業も母子健康手帳の交付窓口のどこでも利用申し込みができる環境を整備していく。

※他の質問項目 ケアが必要な方の宿泊ケアの利用期間の延長 など

金町地域のまちづくり

問送迎ステーションの設置場所や送迎するエリアなど、その後の試行実施の検討状況について、どのように考えているのか、区の見解を伺う。

答現在、モデル事業として、水元地域に駅から距離のある保育園が多いこと、および金町駅前の公共施設であるカナマチぷらっとの活用が見込めることから、金町地域を対象として検討を進めている。モデル事業を実施することで、保育需要の地域偏在解消や、通勤している保護者の子育てと就労の両立に資する取り組みとして検証ができるものと考えている。

※他の質問項目 JR金町駅と改札口の改修、駅南北通路の見直し など

他の質問件名 気候変動適応策の推進、健康長寿のまちづくり

本会議の様子は、葛飾区議会公式サイトでご覧いただくことができます。

区政を聞く一般質問 (要旨)

詳しい内容は、会議録(2月中旬発行予定)をご覧ください。会議録は、区議会公式サイトや区政情報コーナー(区役所3階)、図書館などでご覧になれます。

葛飾区議会公明党

区民の誰もが安心して暮らしていける共生社会の実現を

認知症対策

問 認知症の方が一人の人間として尊重され、安心して暮らしていける共生社会の実現に向け、区はどのような理念で対策に取り組むのか伺う。

答 幅広い世代に認知症の正しい理解を広める普及啓発、もの忘れ予防健診などの認知症を早期に発見し適切な支援につなげる取り組み、アウトリーチによる医療・介護サービスの利用調整や家族の支援を行う認知症初期集中支援チーム事業、認知症により徘徊する方の保護や万が一の事故に備えた保険加入などの認知症高齢者徘徊対策を、引き続き着実に進め、認知症の方やその家族が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる地域社会の実現を目指していく。

※他の質問項目 補聴器購入費助成 など

サーキュラーエコノミー

問 サーキュラーエコノミーをどのように捉え、進めていくのか伺う。

答 廃棄されていた製品などを資源と捉え、循環させることで新たな資源投入量・消費量を抑えつつ、環境負荷や廃棄物を最小化していくサーキュラーエコノミーの取り組みは温室効果ガスの排出削減につながることで、ゼロエミッションかつしか宣言の実現に向け重要である。繊維・繊維などの水平リサイクルを拡充し、今後さらに製品プラスチックのマテリアルリサイクルについても検討を進め、サーキュラーエコノミーの実現に向け積極的に取り組んでいく。

他の質問項目 熱中症対策 など

医療的ケア児とその家族に対する支援の拡充を

本区の療育、特に、医療的ケア児

問 本区の医療的ケア児の人数とその介護などの実態について現状を伺う。



医療的ケア児に対応できる子ども発達センター新小岩分室(にこわ新小岩)

答 18歳未満は31名で歩行や食事などの日常生活はおおむね自立している方から、経管栄養などの介助が必要なおよび状況はさまざまとなっている。

※他の質問項目 レスパイト事業 など

2024年問題とバス交通

問 バス事業における2024年問題とはどのようなものか、制度改正の内容と本区における影響を伺う。

答 2024年問題とは、働き方改革の一環としての基準の改正で運転手の1日の休憩時間が長くなることなどである。運転手の労働条件が向上する一方、終バス時刻の繰り上げや、早朝時間帯の減便、利用者が特に少ない路線の運休などの可能性がある。

※他の質問項目 循環バスの導入 など

新小岩地域のまちづくり

問 現在進めている新小岩公園・葛飾あらかわ水辺公園の取り組みについて、地域のまちづくりの中で今後どのような視点で進めていくのか伺う。

答 二つの公園の再整備に当たっては、両公園が一体的に活用されることで、地域の魅力をより高める貴重な資源になるとの認識の下、地域のまちづくり活動の促進を担う場とする視点をもって取り組んでいく。

※他の質問項目 えきにくわ など

他の質問項目 学校教育

無所属 (※7)

首都高船堀方面側出入口設置と質の高い学校教育の推進を

問 首都高道路を利用した広域避難と平井大橋における船堀方面への入り口設置

問 新小岩公園整備やあらかわ水辺公園の整備の発展に合わせ、同エリアの首都高道路平井大橋における船堀方面側の出入口の設置について、高速道路へのアクセス向上を図るため、首都高道路株式会社へ働きかけるべきと考えるが、区としての見解を伺う。



首都高道路平井大橋入り口

答 首都高道路株式会社からは、平井大橋南方向への出入口の設置については、河川管理上の制約や、平井大橋に取り付く構造上の制約など、技術的な観点から設置が難しいとの回答を得ている。

※他の質問項目 区民への周知 など

質の高い学校教育

問 教員採用は東京都教育委員会の仕事であるが、小学校の採用倍率が1倍と低い倍率になった現状を、教育長はどのように捉えているのか伺う。

答 質の高い人材の確保に懸念が生じる。都によるさまざまな対策の周知や教員の働き方改革、育成に力を尽くす。

※他の質問項目 本区の教員不足など
他の質問項目 男性職員の育児休業取得の促進、自治町会のデジタルランスフォーメーション

無所属 (※1)

隠れ教育費の負担軽減策やペット同行避難の取り組み推進を

問 葛飾区役所における女性職員の登用

問 現在、男女の区別なく誰もが生き生きと働くことが求められている。このような中、区における女性の昇任選考受験状況について認識を伺う。

答 管理監督者への女性職員の活用を推進していくことは重要な取り組みであるが、現在、女性職員の受験申込率は男性より大きく下回っている。

※他の質問項目 女性職員の昇任意欲



標準服を採用している区立中学校

問 高額な標準服を購入しなければならない実態、また学校における保護者負担に対する認識を伺う。

答 義務教育では授業料および教科書は無償とされているが標準服などの購入にかかる費用は保護者負担となる。経済的に困難な保護者には、就学援助費を支給し負担軽減を図っている。

※他の質問項目 公費負担 など

ペットの災害対策

問 同行避難を想定した避難所運営訓練などを実施すべきと考えるがどうか。

答 関係団体と協力しルール作りやマニュアルの作成などを進め、地域団体などと連携した訓練を実施していく。

※他の質問項目 救援物資 など
他の質問項目 児童相談所、デジタルレバインド対策

無所属 (※3)

スタジアム構想ありきでなく区民の声を受け止めるべき

問 私学事業団総合運動場の取得

問 スタジアム構想は今後どのように区民・近隣住民の合意形成を進めていくのか。選挙で民意を確認してから決定すべきで、運動場として使う選択肢もあると思うがいかがか。



区が取得予定の私学事業団総合運動場

答 今後も選挙のタイミングに限らず、検討の節目節目で進捗状況を地域の方々に説明し、意見を伺いながら地域の活性化につながり、地域の誇りとなる施設となるよう検討を進めていく。

※他の質問項目 運動場の運営 など

体育施設

問 都立水元小合学園の校庭が完成したが、平成21年に当時の教育長は地域開放に向けて東京都と協議を行う旨の答弁をしているが、開放される気配はない。実際に協議したのか。校庭が開放されれば有効活用できるが、今後協議するのか。

答 当時の協議状況は確認できない。校庭は現在開放の対象外となっているが、開放している例もあることから、東京都に働きかけていく。

※他の質問項目 体育施設の優先利用の公表 など

他の質問項目 立石駅周辺地区賑わい創出検討業務委託、新金貨物線の旅客化、児童相談所の定期借地権

無所属 (※4)

まちを豊かに二丁ズを最大限に満たす取り組みを

問 誰もが安心・快適にトイレを利用できる環境づくり

問 学校施設において、洋式便座の設置を基本とした整備をしてほしい。区および教育委員会の見解を伺う。



細田小学校の和式トイレ

答 学校施設におけるトイレの洋式化については、引き続き学校改築やトイレ改修に合わせて実施していくとともに、改修を終えたトイレについても計画的に整備を進めていく。

※他の質問項目 防犯対策 など

農地の保全と活用

問 区民農園は二丁ズが高く、災害時のオープンスペースとしても重要である。一方、農地を借りて運営しているため、貸主の都合で継続できない場合もあり、土地の確保が大きな課題だと思ふ。区の見解を伺う。

答 区民農園は、相続や売却など所有者の都合によって廃園となることもある。高齢者を中心に希望者が多く、今後もさまざまな世代が利用することが想定されることから、農地所有者からの活用の相談に積極的に関わっていくなど、土地の確保に努め、都市緑化の推進につなげていく。

※他の質問項目 区民開放型農地創出事業 など

他の質問項目 地域支援、文化財の保存活用、高砂地域の街づくり